平成24年9月9日（日）
「あこがれ先生プロジェクト in 群馬」アンケート

集計結果

（アンケートの集約枚数　１８２枚）

▲高崎市文化会館　大ホール　開会あいさつ

▲笑顔、感動、勇気・・みなさんの温かいまなざし

１．講演会を知るきっかけ

（アンケートの集約枚数　１８２枚）

①12.24「クリスマス教育講演会」に参加したので

②チラシをもらった

③新聞や地域情報誌で

（その名）

「上毛新聞」・「タカタイ」・「朝日新聞」

「毎日たかさき」

④インターネットで

⑤電話や手紙で

⑥ラジオ高崎で

⑦その他

友達から・知人から・家族から・

ポスター・比田井和孝さんのメルマガ・

チケットをもらって・他の講演会で

⑧未記入・不明

種類	数
①	６１
②	２８
③	6
④	8
⑤	5
⑥	1
⑦	７０
⑧	3
合計	１８２

※友人・知人からの誘いで参加した人が多いのがわかる。そして、今回のイベントは、昨年の１２．２４「クリスマス教育講演会」のリピーターの多いことも特徴的なことだ。比田井和孝さん・中村文昭さんが好印象を残してくださったことが、今回の集客に寄与していることは明らかだ。

チラシやポスター、新聞等の宣伝は、それだけではすぐに集客には結びつかず、人を介しての紹介や誘いがいかに大切かがよくわかる。

２．３人の先生方の発表から感じたこと

▲中村文昭さんと対談する加藤久雄先生（右）

・自分のクラスや部活の生徒の顔や、日々のやりとりが自然に浮かんできて、モヤモヤしていることがあったのに、明日は違う声をかけてみようと思いました。

・目の前にいる生徒のために輝ける大人であること、あこがれられる教師であることが、とても大切だと気づかせてもらえました。自分を見つめ直すチャンスを１２/２４にもらい、今回も絶対来ようと決めていました。新しい自分でまた明日からスタートします!!　ありがとうございました。

・教育の現場で頑張っている先生方の話を聞いて、ほっとしました。熱血と言うよりは、冷静な闘志、静かな闘志を心に秘めて、日々淡々と生徒と向き合っている姿がうかがえました。

・あたたかいお人柄・・・人っていいなあと思わせていただきました。とても落ち込んでいましたが、とっても元気をいただきました。人って１日で気持ちがこんなに変わるのか???と思うくらい、元気に幸せな気持ちにさせていただき、ありがとうございました。

・３人の先生方の子どもに真直ぐに向き合い続けるあり方に感動しました。自分の仕事への向かい合い方、あり方を考えるすばらしい機会をいただきました。ありがとうございました。

・専門学校で教務になり４年目です。いつも自信がなく、学生にどう伝えていったらいいのか、いつも悩んでいました。先生方の話を聞いて感じたのは、学生を心から信じ、自分を信じていくこと、まずは自分が変わること。明日から自信をもって学生に伝えます。できることしかできないし、失敗を恐れません。

・先生として何でもしっかりできなければ、といつも必死でした。まだ５年目。もう５年目、の壁を感じつつ、自分のことばかりでした。生徒に対して何ができるか、生徒を幸せにするためにどう動くか、教えていただきました。ありがとうございました。

・教員１年目で、最近行き詰っていましたが、大先輩の先生方のワクワクするお話がたくさん聞けて元気が出ました。特に太田先生のお話は、自分の家ですら忙しさに負けて汚いままの状態の私には、グサっときました。実は長野県出身で、母は飯山市出身なので、とても懐かしくお話を聞いていました。普段何とはなしにしていた「無言清掃」のことを、すっかり忘れていました。今後、学校での清掃（自宅の清掃）も気合を入れてやろうと思います。長野で学んだことを群馬の教育に生かします！３人の先生方、それぞれのお話から元気と力をもらいました。ありがとうございました。

・私は今年教員採用試験を受けて、うまくいけば来年から教員になります。日頃から、やはり教員は人間力だと思っていましたが、今日のお三方を観ていて、やはりそうだと確信しました。先生らしくなろうと気張らずに、“自分らしく”やっていこうと思いました。失敗を語るのも悪くないな、と思いました。

・改めて先生の力は偉大だと思いました。すぐに結果が出ないことが多いと思いますが、信念をもって続けることの大切さを感じました。
・幼稚園教諭です。これから、もっともっと子どもと向き合っていこうと思いました。何かをするってすごいと思いました。
・保護者として参加しました。先生方の心の真ん中にある情熱や真剣さが伝わりました。
・「子どもたちからいっぱい学ぶんです」という加藤先生の言葉。「磨かれたのは自分だった」という太田先生。そして、「教えることより学ぶこと」という和田先生。私ももっともっと周りからたくさん学んで成長したい！と思いました。すべて知ったような口をきいて授業をしているような気がして、恥ずかしくなります。明日から周りの人をいっそう大切に、がんばっていきます。１０分早く学校に行きます。

＜加藤久雄先生＞群馬県高崎市立豊岡小学校「育ちを大きく観る」

・群馬にこんなに熱い先生がいてくださったことを、とても嬉しく思います。スケールの大きい自分になって、心の広い自分を楽しく目指そうと思えました。ありがとうございます。
・私はあまり子どもたちのことが見えていなかったんじゃないかと反省しました。今日、加藤先生の話を聞いて、時間はかかるけど、かかっていいんだと思い、あせっていた自分に気づけました。ありがとうございます。明日から、心をゆったりとしていきます。
・最近学校へ行くのが苦しい日もありましたが、加藤先生の最後の言葉が心に響き、子どものために私ができることを考え、明日から学校へ行きたいと思いました。私らしく頑張っていきたいです。今日は、ありがとうございました。
・３人の先生に、教育のすばらしさを改めて思いました。その内容は短い時間では語りつくせないものだったと思いますが、心に温かい希望をいただけました。参加できたことを幸せに思います。
・ぼそぼそって、子どものそばでつぶやくことをしてみようと思います。
・「花まる」のパフォーマンスをいつか自分もやってみようと思います。

＜太田智明先生＞長野県木島平中学校「掃除は人をつくる」

▲長野県下に掃除のすばらしさを広める太田智明先生

・お掃除するすばらしさ。改めて実感させていただきました。生徒さんへの姿勢、すばらしいです。もっとお掃除が好きになりそうです。
・自分が変わるということ。本当にそう思います。子どもは大人をしっかり見ていますよね。私も明日から気持ちを新たに頑張れる気がします。
・放課後、下校した子どもたちの机を直しながら、思うこと、反省することがたくさんありますね。
・掃除で自分を磨く、心が変わっていくというお話にはっとさせられたことがたくさんありました。

・何かひとつ、誰でもできることをしっかりやりきるって大事だと思いました。
・掃除、振り返り・・・まだまだでした。毎日がんばります。

＜和田忠篤先生＞新潟県立柏崎高等学校「キャッチャーとしての教師」

・お人柄がすばらしいです。うつのお話をはじめ、全てに正直で誠実な姿勢、学ばせていただきました。
・筋ジストロフィーの生徒とのふれあいの中で、生きることの意味を考えている高校生。精一杯生きることを考えました。小・中・高のその子の年代に応じたそれぞれの接し方が必要なのだと感じました。
・「キャッチャー」っていいですね。先生のやさしそうな雰囲気でキャッチャーでいると、子どもたちは話しやすいでしょうね。それできっといいクラスをつくっているんだなあ、と。

▲人柄そのものが「キャッチャー」の和田忠篤先生（右）

・相手を変えようとするのではなく、相手にしてやれることは何かを考えての行動というが心に響きました。
・「聞けない教師」にどんどんなっていく自分が恥ずかしくなりました。聞くこと、そこから始めていきます。
・生徒とすれ違うたびに話しかけ、いつもどんなボールでも受け止められるようになりたいと思いました。

３．我武者羅応援団の応援の感想

・本当に感動しました。久しぶりに泣いてしまいました。自分を信じること・・・とっても大切なことを思い出させていただきました。ありがとうございました。
・自分は、いつも応援するばかりだと思っていましたが、「フレー　フレー　先生」と言われると、心が熱くなって、自分を先生と呼んでくれる生徒のために頑張ろうと思いました。ありがとうございました。

▲我武者羅応援団の心からの熱きエール

・講演前からロビーで行っていた応援に元気をもらいました。応援している姿、応援されている姿、どちらも見ていて楽しくなりました。
・ちょうど悩んでいたことを応援してもらいました。生徒に思いが通じなくても、ずっと信じてあげられる先生になります。本当にありがとうございます。
・がむしゃらの中に、相手を想う優しさを感じました。だから心に響く応援なんだなあと思いました。がむしゃ

らって、かっこいいと思いました。自分もがむしゃらに、もっとなれるはずだ！と思うことができました。

・大好きです。写真も一緒に撮ってくださり、ありがとうございます。

・応援されるって、こんなにうれしいものなんですね。全力で応援されると心がこんなにも喜ぶんだと、幸せになりました。愛のある力強い応援を、ありがとうございました。３の２の２６人のこと、明日からもっと信じて応援していきます！

▲我武者羅応援団の団長、武藤貴広さん

・「自分を信じろ！　我らは信じてる!!」の一言が胸に響きました。応援ありがとうございました。

・噂は聞いてはいましたが、パワーに圧倒されました。がむしゃら、一生懸命、心からってこんなに響くんですね。

・楽しく大人たちがすること、子どもを信じること、あんなふうに見守っていきたいと思いました。とても感動しました。

・「リベンジ」生で聞けて感激です。一緒に歌いました。

・自分自身を信じていくことが大切！子どもに、勇気や自信を与える教師になりたい、と感じました。

・今日も泣かされちゃいました！　また会いに行きます！

・「本気」って本当にすばらしい!!

・たまりません。３５歳、男。大泣きです。ガムシャラにやるってかっこういいです。

４．中村文昭さん、イベントの運営について

・発表者との間合、フォローが良く、中村文昭さんの持論もたくさん聞けて、なるほどと思ったり、勉強になったりしました。このようなイベントのコーディネーターの役割は大きいと思います。市野先生のフルートもとても良かったです。

・優れたコーディネーターのもとでは、優れた先生方のお話が、さらにすばらしいものにのぼりつめていくということがよくわかりました。ありがとうございました。

▲休憩時間にフルート演奏をしてくださった市野裕香先生

・本日はありがとうございました。私は、正規教員を目指す中で、うまくいかないことが多く、本当に教員になりたいのか・・・といろいろ悩んでいました。そんな時に今回の講演会に出会いました。3人の先生方の話を聞き、学生時代、「教員になりたい！」と思った気持ちを思い起こしました。今は、子どもとともに、子どもから学びたいという気持ちです。失敗ばかりですが、いつか教室で、子どもたちの前で、失敗話ができるように頑張りたいです。

▲子どもたちにもサービスする中村文昭さん（コーディネーター）

・会場に入っていちばんに目を引いたのは、バルーンアートでした。子どもにあげることになって、すばらしい心づかいが行き届いていると思いました。
・バルーンの飾りがかわいらしく、すてきでした。休憩時間の演奏等、スタッフのみなさんの心づかいを感じました。
・来年もぜひやってほしいです。全国に広げてください。

・中村さんの話の引き出し方はうまかった。コメント力もすごいです。力がある人は、互いに相手の求めていることを察する力が高いことが分かりました。ありがとうございました。
・生徒の応援団は先生。先生の応援団は、保護者です。先生たちとの壁を感じます。先生たちはガードが固い。
・今日、最後まで大人につき合った子どもたちへの風船プレゼント。中村さんのその配慮にさすが！と思いました。
・休み時間のフルートもとてもいい時間を過ごさせていただきました。
・ユーモアのセンスがあり、人間的な魅力を感じました。「他人を批判するだけでは何も変わらない。今、自分のできることをする。と言う言葉が、心に残っています。
・大学生ですが、大学の講義の何倍も勉強になり、ためになりました。
・いい担任と副担任でした。いい先生にあたると、子どもは幸せなんだなあと感じました。今のクラスの子に「あこがれられる先生」になれてるかなあ～と思いました。
・「花まる先生」との対談形式が面白かった。原稿を読むような発表の１万倍くらいいい。
・良かったです！長野県でも開催します。
・私は富山で教員になる予定ですが、こういうものを富山でもやってほしいと思いました。

▲７００席がほぼ満席の高崎市文化会館大ホール

▲我武者羅応援団のリードで一体感を味わうフィナーレ